

CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

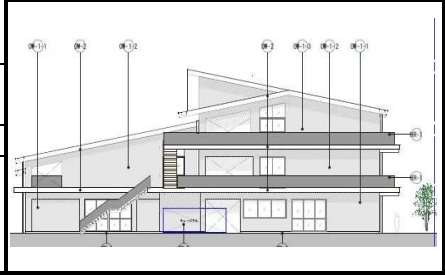
1. 建物概要																																														
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	開志学園高等学校移転計画 新潟県新潟市中央区南長潟95番1他 市街化調整区域、防火地域 指定なし 学校, 2023年2月 予定 5,376.95 m ² 1,546.16 m ² 3,023.37 m ² 地上3F S造 実施設計段階評価 2021年07月26日																																													
2. CASBEE新潟の評価結果																																														
 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B+ $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{39.7}{39.4} = 1.0$																																													
3. 新潟市の重点項目の評価																																														
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.0 																																													
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.9 																																													
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0 																																													
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.5 																																													
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.7 																																													
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5 																																													
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.0 																																													
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>バリアフリー計画</td> <td>Q2.1.1.3</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>維持管理</td> <td>Q2.1.3</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>設備の更新性</td> <td>Q2.3.3</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>耐震・免震・制震・制振</td> <td>Q2.2.1</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>信頼性</td> <td>Q2.2.4</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>雨水排水負荷低減</td> <td>LR3.2.3.1</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の熱負荷抑制</td> <td>LR1.1</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>自然エネルギー利用</td> <td>LR1.2</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>LR2.1.1</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>躯体材料以外でのリサイクル材の使用</td> <td>LR2.2.4</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>部材の再利用可能性向上への取組み</td> <td>LR2.2.6</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>生物環境の保全と創出</td> <td>Q3.1</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>敷地内温熱環境の向上</td> <td>Q3.3.2</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>まちなみ・景観への配慮</td> <td>Q3.2</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>地域性への配慮、快適性の向上</td> <td>Q3.3.1</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table>		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0	維持管理	Q2.1.3	3.0	設備の更新性	Q2.3.3	3.0	耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0	信頼性	Q2.2.4	2.8	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0	建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0	自然エネルギー利用	LR1.2	2.0	節水	LR2.1.1	4.0	躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0	部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0	生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0	敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0	地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0																																												
維持管理	Q2.1.3	3.0																																												
設備の更新性	Q2.3.3	3.0																																												
耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0																																												
信頼性	Q2.2.4	2.8																																												
雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0																																												
建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0																																												
自然エネルギー利用	LR1.2	2.0																																												
節水	LR2.1.1	4.0																																												
躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0																																												
部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0																																												
生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0																																												
敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0																																												
まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0																																												
地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0																																												
4. 新潟市の重点項目の配慮事項																																														
BPI _m =0.60。 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。																																														

CASBEE® 新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	開志学園高等学校移転計画	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市中央区南長潟95番1他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域 指定なし	平均居住人員	300 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年07月26日
敷地面積	5,377 m ²	作成者	大矢 英作
建築面積	1,546 m ²	確認日	2021年07月30日
延床面積	3,023 m ²	確認者	池田 弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 教室の天井高が2.7mを超えている。 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.60。 BEI _m =0.69。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGS使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率83%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される